



子育て支援センターだより

子育て支援センター ☎52 - 2315

今月号から、「子育て支援センターだより」と題して、子育て支援センターで行っている活動内容と子育てに対するアドバイスなどを紹介します。

4月12日、第1回目の親子遊びの広場を行いました。新規1組、継続18組、計19組の親子の皆さんが遊びにきてくれました。出席をとる際お名前を呼ぶととても元気よく「は～い」と返事をしてくれました。第1回目ということもあり新しく参加した親子もいたので、お母さんと一緒に自己紹介をし、その後はお遊戯室で自由遊びをしました。積み木をたか～く積み上げてお家を作ったり、ボールでサッカーをしたり、久々の親子遊びだったので泣く事もなく皆で楽しく遊んでいました。また、お母さん方の会話もはずんでいました。

遊びの中で一度は経験したことがあると思いますが、おもちゃや絵本で遊んでいる際、使いたいなぁ、ほしいなぁとお友達に対して泣く、かみつく、たたくなどをして自分の要求を通そうとする場面があります。この時は自分の欲求をうまく伝えられないので、泣いたり、お友達にかみついたりするなどの行動に出てしまいがちです。特にお話をし始める1～3歳頃の時期によく見かけます。その際は、「だめよ！」と言うのではなく、「こうしたいのね」と、子供の気持ちを代弁してお友達に「貸してね」と手を差し出すのをみせたりすることで、表現の仕方を覚えていきますので、見本を見せてあげましょう。また、子供の気持ちに共感しましょう。理由がわからなくても共感して、気持ちがわかった時は、言葉にして抱きしめて愛情を伝えてください。

気持ちを切り替えることがスムーズになるためにも一日の生活パターンを作り、常に対応を変えないことも大事です。毎日同じことを同じ流れで繰り返し、当たり前になるようにします。そうすれば子どもも受け入れやすく次の行動をイメージすることができて、気持ちを切り替えることができるようになるでしょう。

保育所の元気な子ども達

幾寅保育所

4月からは、57名の子ども達が元気に通っています。毎朝、お母さんと離れるのが淋しくて、泣いている子もおり、にぎやかです。お遊戯室では、跳び箱、積み木、ブロックなどで好きな遊びを楽しんでいます。



金山保育所

4月からは、9名の子ども達が元気に通っています。新入児も自分の好きな遊びを見つけ、毎日楽しく遊んでいます。この日は教室で絵本を読んだり、お絵かきをしたりして皆で仲良く過ごしています。

